

誠心 まごころ

第1号
2019年3月1日 発行

発行
医療法人社団 誠広会
平野総合病院



平野総合病院 医師団

地域医療をめざして

理事長 平野 聡子

昭和60年1月1日創刊された誠広会新聞でしたが、この度新たに誠心(まごころ)として創刊することになりました。

昨年は、前名古屋第二赤十字病院血管外科部長井尾昭典医師と内科小林雅人医師が新しく当院の常勤になって活躍していただいています。

平成29年4月1日から西2階病棟を非稼働病棟としていましたが、昨年9月7日の地域医療構想会議で西2階病棟を療養病棟として再稼働することが了承され、12月3日から西2階40床を再稼働しています。

10月1日から訪問看護ステーションひらのを新設し、在宅患者さんの支援を強化していますので、お気軽にご相談ください。

総合病院ですのでたくさんの科の外来診療を

行っていますが、特に小児科医は2012～2013年・2014～2015年の2回Best Doctorsの常勤近藤富雄医師を中心に平日は毎日午前・夜間と診療しています。

予防医学にも力を入れており、総合健診センターがありますので、早期発見・早期治療のために体のメンテナンスのためぜひご利用ください。

血液浄化センターでは長年にわたる患者さんとの信頼関係を築いています。

当院は、地域の高度急性期病院、地域の基幹病院、地域のクリニック・介護施設等との連携をより強化し、多職種で協働して地域を支える、より地域密着型の病院を目指しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

療養病棟を開設しました

平成30年12月、西2階に療養病棟がオープンしました。

●療養病床とは

療養病床は、急性期の治療を施す「一般病棟」とは対照的に、ある程度病状が安定している慢性期の患者さんの長期療養を目的として医療措置やリハビリなどのサービスを提供します。



急性期

濃厚な治療が必要な時期
入院期間は長くても1ヶ月程度

一般病床

慢性期

時間を掛けた療養が必要な時期
入院期間は1年以上となるケースも

療養病床

対象疾患・対象となる状態

- 中心静脈栄養(太い血管から高カロリー輸液)を行っている
- 人工呼吸器を使用している
- 酸素吸入を(常時3ℓ以上)実施している
- パーキンソン病関連疾患
- 脊髄損傷
- 褥瘡
- 透析
- 悪性腫瘍(医療用麻薬の薬剤投与による疼痛コントロールの必要な患者さん)など

詳しくは当院の医療相談や看護師にお尋ねください。

医療処置のある患者さんに安心して入院していただけるように、医師、看護師、リハビリスタッフなどが協力してケアを行っています。



訪問看護ステーションひらの

地域に密着した医療の提供を目指しています!

訪問看護とは

看護師・理学療法士が医師の指示を受け、病気や障害を持った方のご自宅へ訪問し快適な療養生活を24時間支援するサービスです。



地域住民の方々が
住みなれた環境で過ごせるよう
地域に密着した医療の提供を
目指しています!

主なサービス

- 健康状態の観察
- 日常生活のお手伝い
- 医師の指示のもとに注射や点滴の実施
- リハビリの実施と相談
- 認知症ケア
- 医療機器の管理
- 心のケア
- 24時間365日対応

ご利用方法

お問い合わせ、申し込みは、主治医または病棟看護師、ケアマネージャー、「訪問看護ステーションひらの」にご連絡下さい。



利用者様

ケアマネ

病棟看護師

主治医

訪問看護
ステーション
ひらの

お問い合わせ

TEL:058-213-8822

FAX:058-213-8825